名古屋学院 PTA会報

発行　名古屋学院PTA
名古屋市東区砂田橋
2丁目1番58号
電話(052)721−5271番
http://www.meigaku.ac.jp/

二〇一七年度 主題聖句

あなたの神である主を愛しなさい。
隣人を自分のように愛しなさい。

マタイによる福音書 22章37節〜39節

一年を振り返って

PTA会長　宮崎　泰行

保護者の皆様、関係者の皆様には日頃よりPTA活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

また、PTA役員の皆様には色々な面でご尽力いただき、サポートしてくださいましたこと大変感謝しております。

ご子息が卒業を迎えられる保護者の皆様、誠におめでとうございます。それぞれに感慨深い思い出があることと存じます。中学校を卒業されるご子息は、名古屋学院での一つの区切りとなります。高等学校を卒業される人達は、これから大学に進学し大人へと成長していくことになります。楽しい学生生活が待っています。勉学を極める子もいるでしょう。体育会に入ってスポーツに明け暮れる子もいるでしょう。是非有意義な大学生活を送られ、立派な人となって社会に羽ばたいていかれることを期待しています。

名古屋学院で学んだ3年間、または6年間の「敬神愛人」の精神、部活動で培った「心・技・体」などは将来必ずご子息の力になるものと信じております。

さて本年のPTA活動に関しましては、愛校祭での模擬店、お茶処、バザーや講演会、チャペルコンサートなど、専門部の皆様がたいへん熱心に取り組まれ大活躍されました。来場者にも好評をいただき大成功を収めることができました。例年にも増して楽しくも充実した活動ができたのではないかと思っています。実のところ本年、我々PTAが唯一主体的に取り組むことができる専門部に予算を少し増額させていただきました。これまでギリギリでやり繰りしていた予算に少し余裕を持たせていただいた程度ですが、無理のない活動に繋がったのではないかと思っています。

今後ともより良いPTA活動を目指して後任の皆様には頑張っていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

最後になりますが、PTAに関係する皆様のご健勝とご多幸、そして名古屋学院中学校・高等学校のますますのご発展をお祈り申し上げます。

人は愛されて育つ

学院長　小林　光

PTAの皆様の日頃の活動を心より感謝いたします。保護者の皆様と教師が協力し合って若人たちの成長を見守り、支えることはとても大切なことです。聖書は「成長」において何が重要かを語っています。「**イエスは知恵が増し、背丈も伸び、神と人とに愛された。**」(ルカによる福音書　第2章52節)

「**知恵が増す**」とは、知識や学力はもちろんのこと、正しい判断力、実行力、考えて行う力が増すということです。他人から言われ、強制されてしぶしぶするのではなく、自分から進んで学び、経験を活かし、行動する力と言ってもよいでしょう。それが知恵です。

「**背丈が伸びる**」とは、文字通り身体の成長です。少年から青年へ、青年から大人へと身体は変化して行きます。声変わりなどで私も悩んだ時期がありました。身体の変化は思春期特有の心の変化とも連動し、親に追い着き、追い越そうと、もがき苦しむ時でもあります。肉体的にも精神的にも、ぐっと伸びて、身体と心の基礎ができる時期です。

能力、肉体、精神の成長と共に、最も大切なことは何でしょうか。聖書は、「**神と人とに愛される**」ことだと語っています。愛される経験なしに、人は人として成長できないのです。

愛するとは、ただ甘やかすことではありません。子どもの機嫌を取り、言いなりになって、欲しがるものを何でも与えれば、間違いなくその子はダメになってしまいます。自分の思い通りにならないと腹を立て、いつも他人のせいにし、自分中心にしか考えられないからです。過剰な期待をかけることも、子どもを追いつめることになります。その逆に、突き放して話も聴かず、無視して放任すれば、心を閉ざしてしまうでしょう。

愛するとは、忍耐を持って見守り、試練の中で支え、共に生きることです。聖書を読むと本当の愛が分かります。主なる神、キリストの愛が人を生かし、育て、導くのです。

神様の「愛」と共に

校長　森田　祐二

2017年度を振り返り、保護者の皆様には本学PTA活動へのご協力、ご理解に心から感謝申し上げます。PTA各部、クラインズ・シスターズ、ガーデニング・クラブの皆様の活動により、名中生、名高生の毎日は多くの「愛」に包まれたものとなりました。PTA各部による様々な催し、キャンパスの花の彩り、チャペルに響く美しい歌声は、生徒たちだけではなく、本校教職員にとっても心安らぐものでした。

子供たちの目に見える母の「愛」はほんの僅かかもしれません。見えない部分が多いでしょう。神様の「愛」においても同じことが言えるかもしれません。でも、時間を置いてその無条件の「愛」、無私の「愛」に気づくこともあります。

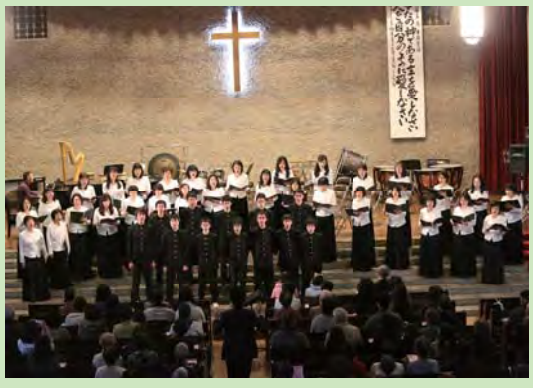
米国、第16代大統領アブラハム・リンカーンは9歳の時に、母親を亡くしました。彼には母親と過ごした記憶が、ほんの僅かしかありませんでした。しかし、リンカーンの母親は、つねに、彼をひざにのせて、聖書を読み聞かせ、賛美歌を歌い、そして彼のために、毎日、声に出してお祈りをしていたそうです。そのためリンカーンの心の中には、つねに母親の言葉がありました。リンカーンは米国大統領になった後、このように言っています。「私は、母親が、私のために祈ってくれた言葉を、今でも覚えています。母が声に出して祈ってくれた言葉は、私のこれまでの日々を守り、そして私の人生を導いてくれました。今、私がこのようにあるのは、全て、母の祈りのおかげです。」たった9年間であっても、母親の「愛」が、息子アブラハムの人生の全ての日々を守り、導きました。

PTA活動というのは保護者の皆様のご子息への「愛」であると思います。保護者の皆様から注がれた3年間、6年間の大きな「愛」の中で生徒たちは育まれ、逞しく成長してきました。いつの時にも神様の「愛」と共に、保護者の皆様の「愛」がここ名古屋中高の学び舎にはあふれています。

2018年度も、名古屋中高のさらなる発展を目指し、教職員一同教育活動の推進を図っていきます。引き続き、本学の教育、PTA活動にご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。名古屋学院に関わる全ての方々の上に、これからも神様の祝福が豊かにありますようお祈りいたします。

クラインズ・シスターズ活動報告

佐藤　涼子



本年度のクラインズ・シスターズは38名の部員でスタートしました。

活動始めと致しましては、2月より次年度の発表に向けての練習を開始し、4月には桜の花が咲き乱れるころ、中学1年、高校1年の学年集会においてPTAコーラスの募集及びPRも兼ねて2曲(讃美歌を含む)歌いました。

5月にはPTA総会、夏には7月にサマーコンサート、秋には11月にチャペルコンサートで聖歌隊のクラインズ・ボーイズと一緒に「Joyful, Joyful」を披露いたしました。

12月にはクリスマス礼拝を今年の締めくくりとして、1年間を通じPTA役員、学校関係者の皆様方のご協力のもと、クラインズ・シスターズの活動をいたしました。

あっという間に18年の歴史を刻みましたが、年々部員数も増え、今後もコーラスを楽しく練習していきたいと考えております。

毎週水曜日、チャペル2階において午後2時〜4時まで白石先生の指導のもと練習しています。歌の好きな方、少し苦手だけど…と思っている方も、ぜひ練習風景をのぞいてみて下さい。部員一同大歓迎でお待ちしております。

PTA ガーデニングクラブ「男子校に花の彩りを」

西　智恵子

当クラブには現在45名が所属しており、月2回、第2火曜日と第4金曜日の午前中を基本に、校内の環境美化、花壇の整備などの活動を行っています。男子ばかりの学校に花の彩りを添えたいという思いで作業しながら、子育ての悩みや学校の情報交換にも盛り上がる楽しい時間を過ごしています。

メイン花壇は学校駐車場の東脇にあり、昨夏はポーチュラカを植え、現在はパンジーとビオラが春をじっと待っています。他に高山ホール周辺のバラや事務局前の寄植え鉢、狭き門のプランター等、できる範囲でお世話をしています。12月には、中庭で落ち葉の焚火をおこし、さつま芋を焼いて昼放課に配る「焼き芋会」を開催しました。焼き芋を手渡す時の彼らの笑顔と、芋に食いつく様子が何ともほほえましく、癒されるひとときでした。

都合のよい時に気軽に参加できるのが私たちのクラブの特徴です。ぜひ一緒に息子たちの成長を見守る仲間になりませんか。

教養部だより

■チーム一丸となって

南澤麻紀

9月23日(土)、前日の雨とはうってかわって爽やかな秋晴れの中、「愛校祭」が開催されました。教養部は毎年、来校されたお客様や学校関係者、生徒の皆さんの休憩の場として「お茶処」でお抹茶とお茶菓子をお出ししています。

今年度は部員32名がそろい、この日のために何度か打ち合わせをしながら準備をしてきました。

当日は、早朝より本校の卒業生でもある和菓子店「福田屋」さんから1200個のエンブレム焼印入りのお饅頭が届きました。部員の皆さんは新調した深緑色のエプロンを身にまとい、各々の持ち場について精一杯のおもてなしをします。始めはゆっくりとしたスタートでしたが、お昼頃には常に満席状態となり、お客様の足が途切れることはありませんでした。

無事に終了した時にはお抹茶を立てる手はしびれ、一日中動き回った足はパンパンに…。そんな中でもやり切ったという気持ちからか、部員の皆さんの表情はとても明るく、教養部が一つのチームとなって強い団結力が生まれた瞬間でもありました。

このようにPTA活動を通して、多くの方々と知り合い、貴重な時間を共有できたことをとても嬉しく思います。ひとえに部員の皆さんのご協力あってのことと感謝しております。本当にありがとうございました。

最後になりましたが、立石先生をはじめ教職員の皆様のご助力に、心より御礼申し上げます。

生活部だより

■部員のお父様方もお手伝い

丹羽恵子

今年の生活部は部員34名。主な活動は9月に行われた愛校祭での模擬店の出店、私学協会父母の会主催の「愛のパトロール」の参加でした。

愛校祭では高校3年生の模擬店と並んで出店しました。生徒・関係者様へ開放された初日には、名古屋中学・高校エンブレム焼印入り千なりとフルーツスパークリングを販売。

一般来校者もお越しになった2日目は、更に毎年恒例の焼きそばとみたらし団子も販売しました。

今年は部員のお父様方にもお手伝い頂き、忙しい中でも、賑やかに楽しく過ごすことが出来ました。2日間とも天候に恵まれ、大盛況の内に完売する事が出来ました。

この一年間、お世話になった宮尾先生をはじめ、明るく協力的で有能な部員の方々には多大なる御協力を頂き、無事活動を終える事が出来ました事を心から感謝し、お礼申し上げます。

このような機会をお与え頂いた関係者の皆様にも深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

学際部だより

■言葉を育てると心が育つ

宇佐美佳代

今年度、愛校祭での講演会は、文学部との協同企画のもとメディアで大活躍の夏井いつき先生をお招きしました。「俳句、俳句甲子園がいかに人間教育を広げていくのか」をテーマに、まず〝俳句甲子園エキシビションマッチ〟のスタートです。

強豪である洛南、幸田高校との熱い戦いが繰り広げられ、高校生ならではの視点、発想の豊かさ、迫力あるディベートに観客一同魅了されました。

続いて夏井先生が俳句の素晴らしさを軽妙なトークにのせて、かつ丁寧にお話しくださいました。「言葉を育てる」と「心が育つ」という先生の言葉が心に残りました。会場が温かい雰囲気に包まれ、どなたも笑顔で会場を後にされていたのが印象的でした。

この一年間、安藤先生、水野大雅先生、教職員の皆様、20名の部員の皆様、保護者の皆様には多大なご協力をいただき、ほんとうにありがとうございました。

厚生部だより

■制服などのリサイクルバザー

加藤真理

愛校祭で毎年恒例のリサイクルバザーを行いました。会場の書道室では、開場30分前に約50名の方が並ばれましたが、入場制限しながらゆっくり選んでいただきました。おかげさまで、本年度も大盛況のうちに終える事ができました。

卒業生・在校生の保護者様には、学生服・柔道着・体操着・小物など、数多く提供していただきまして、心よりお礼申し上げます。バザーの売上金は、体育祭でのテント購入と、日本赤十字社・東区社会福祉協議会への寄付に、充てさせていただきました。リユース品の受け取りについては、事務局にていつでも行っていますので、直接持ち込みまたは郵送でご利用いただけます。

一年間ご協力・ご指導いただきました大藪先生、入江先生、関係者の皆様、事務局の皆様、そして活躍して下さった30名の部員の皆様、本当にありがとうございました。

※尚、学生服（上着）145・150㎝サイズのみ、先着順でリユースいたします。希望者は、大藪先生（中学校・聖書科）へお問い合わせ下さい。

文化部だより

■チャペルコンサート

嵯峨朋子

文化部の一番の行事、チャペルコンサートが今年も11月18日(土)に行われました。

22回目を迎え、今年も聖歌隊の歌声で始まり、心洗われるような歌声のクラインズ・シスターズの皆様、顧問白石先生のピアノ伴奏など、大変素晴らしい演奏でした。そして、オーケストラ部、吹奏楽部の力強い演奏もご来場の皆様からも大変評判が良く、感動を頂きました等のお褒めの言葉を沢山頂きました。

また、ゲストはシャンソン歌手の中原慶子さんとバンドの方々にお越し頂き『百万本のバラ』『オーシャンゼリゼ』等、私達に馴染みの曲から反戦歌まで、アンコールには『愛の讃歌』と、どの曲も大変素晴らしく感動し、改めてプロの方々の凄さを実感いたしました。

最後になりましたが、この一年、ご協力、ご指導頂きました杉原先生、森山先生を始め、教職員の皆様、事務局の皆様、そして文化部の部員の皆様、本当にありがとうございます。皆様のお力で無事に終える事が出来ました。心から感謝申し上げます。